

様式第3号（第13条関係）

会議録

会議の名称	令和6年度 朝霞市立朝霞第四中学校第1回学校運営協議会	
開催日時	令和6年4月23日（火） 午前10時30分から午前11時50分まで	
開催場所	朝霞市立朝霞第四中学校 2階 校長室	
出席者及び欠席者の職・氏名	出席者 8名 角地直義委員 山崎幸治委員 須田晃弘委員 野本文子委員 有本聖子委員 久住 毅委員 石川俊三委員 太田禎治校長 欠席者 2名 田中 誠委員 植田清美委員 事務局 1名 岩崎良紀（朝霞第四中学校教頭）	
議題	1. 学校運営協議会規則・傍聴要項等の確認 2. 会長・副会長の互選 会長 角地委員 副会長 有本委員 3. 令和6年度学校経営方針についての説明・承認 4. 意見交換・熟議 ・不登校生徒の現状と対応策について ・学校の危機管理について 5. 令和6年度の学校行事計画について 6. 今後の学校運営協議会の開催日程について ・第2回は7月10日（水）午後（予定）	
会議資料	・会議次第 ・学校運営協議会規則 ・市政の情報提供および審議会等の会議の公開に係る指針 ・朝霞市立朝霞第四中学校学校運営協議会傍聴要領 ・令和6年度学校経営方針について ・学校だより4月 ・令和6年度朝霞市立朝霞第四中学校 グランドデザイン ・令和6年度年間行事計画	
会議録の作成方針	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした全文記録	
	☐ 電磁的記録から文書に書き起こした要点記録	
	☒ 要点記録	
	☐ 電磁的記録での保管（保存年限 年）	
	電磁的記録から文書に書き起こした場合の当該電磁的記録の保存期間	☐ 会議録の確認後消去 ☐ 会議録の確認後 か月
	会議録の確認方法：委員長による確認	
傍聴者の数	傍聴者 0人	
その他の必要事項		

審議内容（発言者、発言内容、審議経過、結論等）

1. 学校経営方針について【会議資料参照】

- ・あいさつ
- ・本校概要、今年度の職員、子どもたちの様子について
- ・学校経営方針の基本的な考え方について
- ・学校運営の課題と対応について

2. 意見交換・熟議

（委員）

・地域連携について3月に市内他校の取り組みについて研修があった。地域と協力してできるとよい。

（校長）

・学校としては、協力してくれる人材を必要としている。人脈を生かして人材発掘をすることはできないか。過去で朝霞第二中学校での取り組みを行った経験がある。そもそも学習に向かうことや教室にいくことに課題を抱えている児童もいる。そういった子を見守ることも必要。イメージとしては、中学校のさわやか相談室。

（委員）

・そういったことは人材がいればできるのか。

（校長）

・例えば学生ボランティアやインターシップ、他には特色ある学校づくりで取り組むことができると考えている。

（委員）

・状況次第ではぜひ協力したい。

（副委員長）

・人材についてはミスマッチに注意することが大切。「何をしてほしい。」「何ができる人」がほしいのか明確にする必要がある。また、紹介はできても、責任はとれないという課題もある。

（委員）

・地域への働きかけについてはどう考えるか。

（副委員長）

・地域では、学校に協力することについて、温度差があると考えている。保護者ができることは、保護者がしないで地域が行うことに抵抗がある。子供に経験や体験をさせるために、保護者の協力を得る必要がある。例えば、そういった文書を学校とPTAの連名で出すなど。

（校長）

・学校としては、そこを天秤にかけた手紙は出しづらい。しかし、協力が得られるなら青写真を描くことができる。

（副委員長）

・保護者の意識を変えないといけない。学校に預けたら後は学校任せでは、いつまでも状況は変化しない。

（委員）

・保護者にもいったん関わってほしい。保護者への知らせ方を工夫することも大切かもしれない。

(副委員長)

- ・地域が学校に協力したがる取組はどうか。例えば避難所としての取り組み、後は朝霞第二中学校の鳴子にあたるものなど。

(委員)

- ・保護者は校長の考えでこういった取り組みができることを知らない。そういったことを発信するところから始めるのはどうか。

(委員長)

- ・今回、校長からの提案により、具体的に話をすることができた。人材については、教員に働きかけてもよいのではないかな。

(副委員長)

- ・朝霞第二中学校の性教育は養護教諭が指導者を探している。

(校長)

- ・人材を入れるときには、「やってもらってよかった。」「やってよかった。」というような取り組みにしていきたい。

3. 令和6年度学校行事計画について【会議資料参照】

4. 今後の学校運営協議会の開催日程について【会議資料参照】